

農山漁村地域と都市型企業双方の課題を解決する新しい交流・連携のスタイル

# 農都交流プロジェクト 全国セミナー in 東京

## 「農都交流プロジェクト」に関するセミナーを開催します

都市型の企業・組織が、農山漁村地域で何らかの活動(人材育成やCSR活動など)を行うことを契機として、農山漁村地域と都市型企業・組織双方が抱える様々な課題を解決する、都市と農山漁村の交流の新しいスタイルの構築を目指すのが「農都交流プロジェクト」です。一方的(ワンウェイ)一過性ではなく、Win-Win(双方向)で継続的な都市と農山漁村の関係の形成と構築を目指しています。

2014年度も、農林水産省平成26年度都市農村共生・対流総合対策(広域ネットワーク推進対策)事業として全国の農山漁村と企業等の参加と交流の拡大を目指し、さまざまな活動を行ってまいりましたが、その総括としてセミナーを開催します。ぜひご参加いただき、「農都交流プロジェクト」への理解を深め、取組をご検討ください。また各地で取り組まれている関係者の皆様にセミナー情報をご案内いただき、農都交流の輪を広げてください。

### 【開催概要】

※講演内容等は一部変更となる場合があります。

■日時:2015年3月12日(木) 14:00-17:00

■会場:TKP東京駅前カンファレンスセンター ホール4A  
東京都中央区八重洲1-5-20 石塚八重洲ビル (東京駅八重洲北口徒歩1分)

<http://tkptokyoeki-cc.net/access.shtml>

### ■予定プログラム:

#### □「農都交流プロジェクト2014」報告と提案

「農都交流プログラムを活用した企業力向上と地方創生の可能性」

……一般社団法人移住・交流推進機構(JOIN) 参事 農都交流プロジェクトプロデューサー 石川 智康氏

#### □基調講演

「地元学から農都交流を考える(仮)」……………民俗研究家 結城 登美雄氏

#### □農都交流プロジェクト事例紹介

「地域自治組織が主体となった都市型企業との連携・交流事業」

……………島根県雲南市 地域おこし協力隊 浜崎 浩氏

#### □パネルディスカッション

「農山漁村と都市型企業の交流が日本を元気にする」

モデレーター……………一般社団法人 移住・交流推進機構 参事 石川 智康氏

パネラー……………民俗研究家 結城 登美雄氏

……………地域おこし協力隊(島根県雲南市) 浜崎 浩氏

……………(都市企業)(株)ぐるなび 加藤 伸彦氏

ほか

■参加費:無料

■申し込み方法:裏面ご参照ください。

### ■ご案内

都市の企業・組織、大学側から見た課題や農山漁村との連携の在り方の視点を中心としたプログラムです。企業担当者の皆様はもちろん、都市型企業等との連携で地域の元気づくりを目指す地域の方のご参加もお待ちしております。

# 講師・パネラー紹介

## 結城 登美雄氏

民俗研究家。地域づくりプロデューサー。専門は民俗学、地域づくり。著書に、「山に暮らす海に生きる 東北むら紀行」(1998年、無明舎出版)。「東北を歩く小さな村の希望を旅する」(2008年、新宿書房)、「地元学からの出発」(2009年、農文協)ほか。東北を中心に数多くの農山漁村を巡って地域づくりに携わってこられた結城氏に、「地元学」について、また都市と農山漁村との向き合い方等について、豊富な経験をもとに語って頂く。

## 石川 智康氏

出身母体であるJTBで農都交流プロジェクトを企画立案し、自ら全国各地をまわり同プロジェクトの牽引役として活動。地域と企業双方をつないできた実績から、本プロジェクトの意義や今年度の活動状況について解説頂く。

## 浜崎 浩氏

現在、島根県雲南市で地域おこし協力隊として活躍。東京での企業従事経験と、地域での活動の双方の目線で、農山漁村の課題や企業活動誘致について意見を頂く。

## 加藤 伸彦氏

株式会社ぐるなびから、現在(一社)移住・交流推進機構に出向中。食や地域との関わりが深い企業のお立場から、今後の企業活動における農都交流の可能性について、実体験を踏まえて意見を交わして頂く。

## 今年度活動状況

(実施内容) (開催地) (開催期日)

■ 現地研修会	山形県飯豊町	2014/11/6.7
■ 現地研修会	岩手県遠野市	2014/12/4.5
■ 現地研修会	大分県宇佐市(安心院)	2015/2/19,20
□ モニターツアー	島根県雲南市	2014/11/13-15
□ モニターツアー	栃木県大田原市	2015/1/22.23
□ モニターツアー	静岡県掛川市※世界農業遺産認定地域	2015/2/4.5



## これまでの農都交流プログラムに参加した「地元関係者の声」「都市型企業関係者の声」

### 【受入を行った地元関係者の声】

- 都市の企業との交流は、地域の農業者たちの「誇り」や「やる気」「元気」の復活にもつながる。
- 当地は都会の人々との交流とは無縁かと思っていたが、農都交流の手法を使えば可能なのだと気付いた。
- すでに地域にある素材をつかえばよい、普段の自分たちの暮らしを見せればよい、ということなので、それほど無理なことではないと思った。
- 都会の人と顔の見える関係ができれば、農業問題の解決にもつながる。



### 【農山漁村を訪問した企業関係者の声】

- 机上の討議やOJTだけでは身につかないことが多く、経験から学ぶいい機会になる。
- メンタルヘルスを含め、生きる上で必要な工夫や考え方を学べるので、キャリア教育に活用できる。
- 若い社員向けに、異空間・異年齢・異業種の人たちとの交流経験の場を設定することで、深い学びの場として活用できるのではないかと。仕事の場をはなれたOFF-JTとしての効果も大きい。
- 農山村での目に見えないノウハウは、日常の仕事をする上でのヒントになる。農山村で日常行われているコミュニケーションは、都市で働く社員に新たな気付きをもたらす。
- 一緒に来た同期との共同作業からは、チームワークや時間管理など、仕事に直結する気づきが生まれた。
- 企業の人材育成のほか、労働組合のレク活動などにもつかえる。



### ●参加費:無料

### ●参加申し込み方法 : 以下のURL内の「申し込みフォーム」にてお申込みください

(複数名でご参加の場合は、お手数でもお一人ずつ参加申し込みをお願いいたします)

<https://mng.jtbbwt.com/form/31305-1184/>

※受講票の等の発行はいたしません。当日は直接会場受付にお越しください(満席の場合は別途ご連絡いたします)

※先着順での受付とさせていただきます(定員になり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください)

★お問合せ先・・・農都交流プロジェクトセミナー受付事務局(JTBコーポレートセールス霞が関第一事業部内)

TEL 03-6737-9261 メール [noto@bwt.jtb.jp](mailto:noto@bwt.jtb.jp)

(営業時間:月～金 9:30～17:30)